AWA伝統芸能創造発信プロジェクト2018

公演日　平成30年2月2日(金)・3日(土)・4日(日)

会　場　あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)1Fホール

(section4の①と②は同内容です)

AWA Traditional Performing Arts Meeting in 2018

入場料

各公演 | 1回公演券(前売・当日共通料金)

一般指定席 2,000円　学生指定席(小中高) 1,000円

窓口販売　1回公演券のみのお取り扱いになります

インターネット限定販売　あわぎんホールチケット会員のみ

※あわぎんホールチケット会員は登録無料です。ぜひこの機会にご登録ください。

一般指定席		学生指定席(小中高)	
1回公演券:	2,000円	1回公演券:	1,000円
2回公演券:	3,400円	2回公演券:	1,700円
3回公演券:	4,800円	3回公演券:	2,400円
4回公演券:	6,000円	4回公演券:	3,000円

※4歳以上、有料。3歳以下は、保護者1名につき1名まで膝上鑑賞無料
(座席が必要な場合は有料)。

複数公演のお買い求めはインターネットがお得!

プレイガイド

■ **あわぎんホール**(窓口・電話・インターネット)

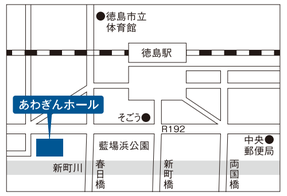
※電話もしくはインターネットで予約された方は、全国のセブンイレブンの店頭にて24時間お支払い・お受け取りいただけます。
※あわぎんホール窓口は会館南側新町川沿いの1階にあります。
※車いす席をご利用のお客様は、あわぎんホールにお問い合わせください。

■ **徳島新聞社事業部**(平日9:30～17:30)
(徳島新聞各販売店でも取り次ぎます)

チケット発売日　一般発売 | 平成29年12月4日(月)

お問い合わせ

あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)
TEL: 088-622-8121　E-Mail: jigyo@kyoubun.or.jp



アクセス
徳島駅より徒歩8分
徳島ICより車で20分
徳島空港より空港連絡バスで
25分、徳島駅より8分

近隣駐車場のご案内
あわぎんホールには専用の駐車場がございません。お車でお越しの方は、あわぎんホール東側の「県営藍場町地下駐車場」をはじめ、周辺の有料駐車場のご利用をお願いします。各駐車場は台数が限られており、駐車できない場合がございますので、公共交通機関のご利用をおすすめします。

主　催　公益財団法人徳島県文化振興財団
共　催　一般社団法人徳島新聞社
事業協力　徳島県邦楽協会、徳島県三曲協会
公益社団法人日本舞踊協会徳島県支部
一般社団法人義太夫協会
阿波おどり振興協会、徳島県阿波踊り協会
助　成　平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
一般財団法人地域創造
文化立県とくしま推進会議 文化の力によるまちづくり支援事業
後　援　四国放送株式会社、株式会社エフエム徳島

阿波銀行は徳島県の文化振興を応援しています。

AWA Traditional Performing Arts Meeting in

2018.2.2(FRI)－2.4(SUN)

その昔…

阿波の殿様が蜂須賀と呼ばれていた頃

藍の交易により、全国屈指の商業都市へと成長した「とくしま」

藍がもたらした果実により、様々な芸術文化が「とくしま」に根をおろす
三味線を代表とする「邦楽」、
人形と義太夫節が一体となった「阿波人形浄瑠璃」、
そして……「阿波踊り」

時を移して

栄枯盛衰を繰り返し、現在に受け継がれている「阿波藍」と「伝統芸能」

現代のフィルターを通し、
私たち「とくしま人」に根づく貴重な文化遺産が、
今、あらたに“華”ひらく!

その名は

AWA伝統芸能創造発信プロジェクト

いざ、開幕!

AWA Traditional Performing Arts Meeting in 藍より華ひらく

2018.2.24 SUN 2F

邦楽

徳島邦楽ルネッサンス 前編

邦楽と洋楽の止揚

section 1 Tribute to 現代邦楽の巨人「三木 稔」

徳島の豊かな邦楽の土壌の中から現れた偉大な巨人「三木稔」。邦楽創造集団オーラJ（三木稔創設）などに所属する日本を代表する現代邦楽の演奏家たちが、三木稔の歌楽の集大成である日本楽器のための音楽劇「羽衣」やフォーク・オペラ「うたよみざる」を中心に演奏。さらに、オペラ界の奇才・青島広志が同時代を生きた三木稔についてトークを交えつつ、“邦楽と歌楽”を掘り下げるユニークな進行。三木稔の「ドラマ」を聴き、同時代人の「声」を聴き、郷土の偉人・三木を再認識できる貴重なステージ。

©Gakken Plus

青島 広志
東京藝術大学および大学院修士課程(作曲)を首席で卒業。これまで作曲した作品は200を越える。テレビ「題名のない音楽会」などに多数出演。他にもイラストや書籍執筆も数多く手がけている。現在、東京藝術大学講師、洗足学園音楽大学客員教授。

榊原 徹
東京藝術大学音楽学部卒業後渡独しベルリン市に在住。様々な演奏活動を経て帰国後は指揮を中心に活動。洋楽とともにオーラJなど邦楽アンサンブルにも携わる。現在、東京劇場管弦楽団、東京室内管弦楽団、オーラJ、各指揮者。三木音楽舎代表。

横山 美奈

赤星 啓子

小野 勉

小林 由樹

section 1 の主な演奏曲目

オペラ〈火の鳥〉より「羽衣編」
（作曲:青島広志、原作:手塚治虫）
【出演】
ピアノ・指揮:青島広志、ソプラノ:横山美奈、テノール:小野勉
三味線:野澤徹也、鼓:望月太喜之丞

〈うたよみざる〉より
「山一登場～山の悲しみ～」「里入り」
「山一、よてこ、道行き」
（作曲:三木稔）
【出演】
ソプラノ:赤星啓子、バリトン:小林由樹
新箏（二十一絃箏）:松村エリナ、打楽器:大家一将
打楽器・指揮:榊原 徹

邦楽器による伝説舞台〈羽衣〉
（作曲:三木稔ほか）
【出演】
ソプラノ:赤星啓子、バリトン:小林由樹
笙:大塚惇平、笛:遠藤悠紀、尺八:山口賢治・阿部大輔
三味線:野澤徹也　琵琶:櫻井亜木子
新箏（二十一絃箏）:藤川いずみ・松村エリナ、十七絃:吉澤延隆
打楽器:望月太喜之丞・大家一将
指揮:榊原 徹

徳島邦楽ルネッサンス 後編

現代を活きる邦楽 in 徳島

section 2 「邦楽」×「身体表現」

徳島の豊かな邦楽の土壌を引き継ぎ、徳島を拠点に活動する現代を活きる演奏家たちによる邦楽公演の新たなる挑戦「邦楽の未来形＝邦楽＋α」。徳島県内&東京で活動する演奏家による邦楽合奏というベーシックな形に加えて、伝統的な「日本舞踊」や「現代舞踊」「コンテンポラリーダンス」のアーティストたちが邦楽演奏に参戦し、新たな化学反応を生み出す…「邦楽＋α」。「聴いて」「観て」そして…「感動して」。すべてがボーダーレスに行き交い平板化されている「今」、邦楽のオリジナリティー・可能性をご堪能あれ。

徳島県邦楽協会
昭和42年県民文化活動の中核団体として発足。謡曲、長唄、囃子、三曲、小唄、吟詠、琵琶、浄瑠璃、俗曲・端唄、民謡の10部門で、幅広く活動する全国的にも珍しい団体。

公益社団法人 日本舞踊協会徳島県支部
徳島県支部公演として、毎年恒例、秋に「日本舞踊の会」を開催。支部公演の際にワークショップとして、中学生・高校生を対象に日本舞踊体験も実施。

桧小舎／檜千尋
徳島市在住。徳島の自然を舞台とした「阿波遊行」で、様々な分野とコラボレーションをした公演をし、好評を得る。2008年に阿波文化創造賞を受賞するなど多数受賞。

小林 啓子
2013年第70回全国舞踊コンクール創作舞踊部第1位など入賞多数。現在ダンスカンパニーカレイドスコープ所属。ダンサー、振付家、指導者として幅広く活動。

section 2 の主な演奏曲目

〈元禄花見踊〉
（作曲:3世杵屋正治郎）
【演奏】
徳島県邦楽協会（長唄部門）
長唄:杵屋三七郎、三味線:杵屋五三吉雄、囃子:望月太意作連中 ほか
【舞踊】
日本舞踊:（公社）日本舞踊協会徳島県支部

〈おつなラプソディー〉「鳴門秘帖」より
（作曲:三木稔）
【演奏】
三味線:野澤徹也、笛:遠藤悠紀、囃子:望月太喜之丞・大家一将
【舞踊】
現代舞踊:檜千尋

〈華やぎ〉
（作曲:三木稔）
【演奏】
新箏（二十一絃箏）:吉澤延隆
【舞踊】
コンテンポラリーダンス:小林啓子

〈小組曲〉
（作曲:三木稔）
【演奏】
徳島県邦楽協会（三曲部門）、徳島県三曲協会
新箏（二十一絃箏）:松村エリナ・藤川いずみ、十七絃:吉澤延隆
尺八:山口賢治・阿部大輔、笛:遠藤悠紀
三味線:野澤徹也、琵琶:櫻井亜木子、打楽器:望月太喜之丞・大家一将
【舞踊】
日本舞踊:（公社）日本舞踊協会徳島県支部
現代舞踊:檜千尋
コンテンポラリーダンス:小林啓子

浄瑠璃

しんえんしゅつさきがけじょうるり
新演出魁浄瑠璃

section 3 るりゐろ絵巻

“音曲の司”と言われ数多くの芸能を支えてきた三味線音楽である義太夫節を、映像とのコラボレーションなど新演出で魅せる“義太夫節エンターテインメント”。さらに、大阪/徳島・淡路/東京の女流義太夫演奏家がこの公演のために一同に集結! 浄瑠璃が根づく徳島ゆえに実現するスペシャルな公演。
また、『あやつられ文楽鑑賞』『仏果を得ず』などでお馴染み、人形浄瑠璃に造詣の深い直木賞作家・三浦しをんが、古典芸能解説者・葛西聖司と共に〈義太夫節〉の魅力に迫るスペシャル対談も! 「唸って語れば絵が見える!」…想像力を喚起し人々を虜にしてきた「義太夫節」を堪能できる特別公演。

三浦 しをん
小説家
東京生まれ。2000年、小説『格闘する者に○』でデビュー。2006年『まほろ駅前多田便利軒』で直木賞、2012年『舟を編む』で本屋大賞、2015年『あの家に暮らす四人の女』で織田作之助賞を受賞。小説に『仏果を得ず』『光』『神去なあなあ日常』など、エッセイに『あやつられ文楽鑑賞』『ぐるぐる♡博物館』など著作多数。

葛西 聖司
古典芸能解説者
東京生まれ。中央大学法学部卒業。NHKアナウンサーとしてテレビ、ラジオ数多くの番組を担当。現在は古典芸能の解説や講演などを全国で展開。【著書】「僕らの歌舞伎」「文楽のツボ」「名セリフの力」「能狂言なんでも質問箱」ほか多数。早稲田大学公開講座、NHK文化センター、朝日カルチャーセンター講師。

監修: 日置貴之（白百合女子大学准教授）
映像: 高村佳典
企画制作: 古典空間

From 大阪
義太夫節発祥の地・大阪における「女義太夫」復興に精力的に取り組む太夫・竹本住蝶、三味線・豊澤住輔。演奏会はもとより幅広い世代に向けたワークショップなどを展開。

竹本 住蝶

豊澤 住輔

From 徳島・淡路
人間国宝故鶴澤友路師に師事する、徳島の太夫・竹本友和嘉と淡路人形座の三味線・鶴澤友勇が、徳島と淡路を人形浄瑠璃で盛り上げようと結成した阿波路会。

竹本 友和嘉

鶴澤 友勇

From 東京
女流義太夫演奏会から異ジャンルとの共演に至るまで、古典の継承をベースとしながらも普及活動と新たな展開を模索する太夫・竹本越若、三味線・鶴澤津賀寿。

竹本 越若

鶴澤 津賀寿

演目

よしつねせんぼんざくら　すしや
『義経千本桜』「鮨屋の段」より
太夫:竹本住蝶　三味線:豊澤住輔

いちのたにふたばぐんき　くみうち
『一谷嫩軍記』「組討の段」より
太夫:竹本友和嘉　三味線:鶴澤友勇
人形:淡路人形座

いちのたにふたばぐんき　くまがいじんや
『一谷嫩軍記』「熊谷陣屋の段」より
太夫:竹本越若　三味線:鶴澤津賀寿

演技（映像）:武谷公雄（プリッシマ）

淡路人形座
1964年に吉田傳次郎座の道具類を引き継ぎ、興行を始めた淡路人形座は2014年8月に福良港に移転。常設館での公演、国立劇場などの一般公演の他、後継者団体への指導、全国の伝統人形芝居保存会への協力など、国内外で活躍。

阿波踊り

section 4 藍の国の阿波おどり The AWA踊り,this is it!

今や全国津々浦々で街おこしとして踊られている「阿波踊り」が、ふるさと・徳島で舞台芸術としての“AWA踊り”に昇華する! 徳島を代表し、互いに切磋琢磨してきた阿波おどり振興協会・徳島県阿波踊り協会がこの日のためにそれぞれ培ってきた演舞に磨きをかけ、華やかに踊り込む。フィナーレとして、両協会があわぎんホールに集い、合同で新たな作品に挑む! 「阿波藍」というテーマのもと、「阿波踊り」が“AWA踊り”に!!
藍の国の阿波おどり ジャパンブルーに照らされて…天水達が舞い踊る。

阿波おどり振興協会
昭和29年発足の歴史ある団体で、輝かしい栄光を誇る連が名を連ねる。阿波踊り期間中に、南内町演舞場で繰り広げる協会メンバー総勢1,500名による総踊りは、息をのむほどの迫力。正調の阿波踊りを重んじ、伝統の技と心を今に伝える。16連が所属する。

徳島県阿波踊り協会
昭和44年11月の発足。協会には踊り子の個性を尊ぶ気風があり、これまでに数多くのスター踊り子を輩出した。バリエーション豊かな踊りやお囃子で観客を楽しませる。徳島支部は17連が加盟。県下に9つの支部があり、協会全体では52連が所属している。

出演者一覧

section 1_2
青島広志（Cond）
榊原徹（Cond）
赤星啓子（Sop）
横山美奈（Sop）
小野勉（Ten）
小林由樹（Bar）
徳島県邦楽協会
徳島県三曲協会
杵屋三七郎（長唄）
杵屋五三吉雄（三味線）
望月太意作連中（囃子）
公益社団法人
日本舞踊協会徳島県支部（日本舞踊）
桧小舎／檜千尋（現代舞踊）
小林啓子（コンテンポラリーダンサー）
大塚惇平（笙）
遠藤悠紀（篠笛）
山口賢治（尺八）
阿部大輔（尺八）
野澤徹也（三味線）
櫻井亜木子（琵琶）
松村エリナ（箏）
藤川いずみ（箏）
吉澤延隆（箏）
望月太喜之丞（打楽器）
大家一将（打楽器）

section 3
三浦しをん
葛西聖司
竹本住蝶（太夫）
豊澤住輔（三味線）
竹本友和嘉（太夫）
鶴澤友勇（三味線）
竹本越若（太夫）
鶴澤津賀寿（三味線）
淡路人形座（人形遣い）

section 4
阿波おどり振興協会
徳島県阿波踊り協会